



石上神宮御拝殿

ゆきぎのみち

日本古神
道研究会

◇ 目次 ◇

皇紀二六六三年十二月六日横浜定例講演会より

・ 石上神宮の謎

石上大神様の位置付け	二頁
石舞台を守る石上様	四頁
大倭日高見国	六頁
石上神宮の宝物	七頁
ひふみの祝詞と魂振り魂鎮め	八頁
人生、段々の理・曙の理で行こう	九頁
神様のご意志に添った会議を	十一頁
一、二、三の祝詞の解説	十二頁
○△□	十五頁
大神神社の謎	十五頁
読者からのお便り	十七頁
事務局便り	十九頁
これからの行事予定	二十三頁
これからの講演予定	二十三頁
行事報告	二十四頁

石上神宮の謎

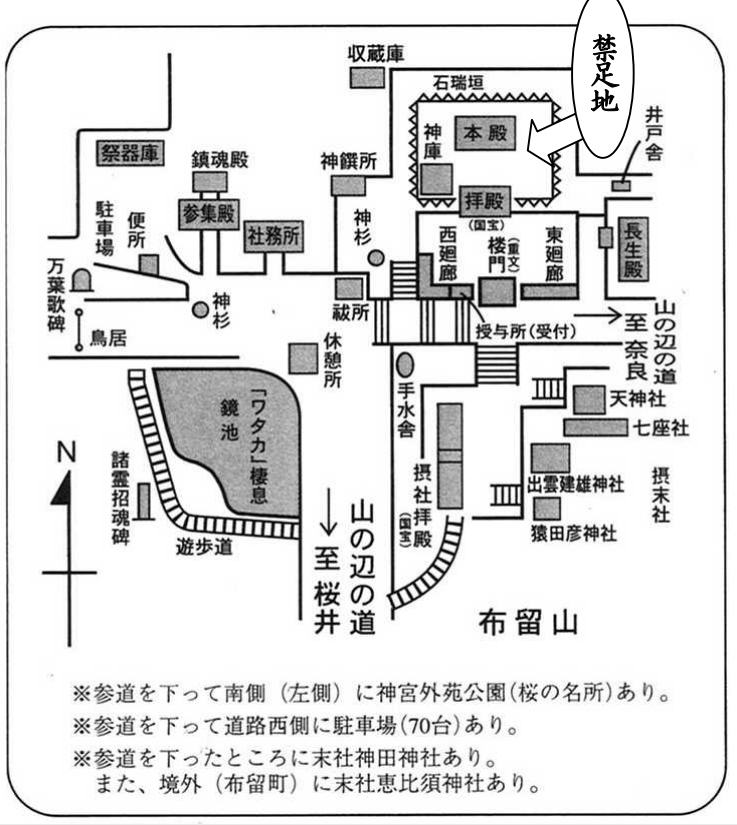
石上大神様の位置付け

石上大神様というお名前の神様を皆様ご存知でしょうか。天照大御神様や八幡様は、一宮の神様としても氏神様としても全国に何千とあり、日本の神様としてほとんどのの方がご存知のことと思います。

ところが石上大神様のお社は、奈良県の天理市というところにたった一つあるだけです。ですから神道のことに興味があり、色々書物等を読んでおられる方以外は、初めてお聞きになる神様のお名前かもしれません。

石上大神様は、一般に刀剣類、武器を司られる武の神様であり、物部氏の守り神様と言われています。そして古神道に興味がおありの方には、「ひふみの祝詞」として、魂振り魂鎮めの神

石上神宮パンフレットより



- ※参道を下って南側（左側）に神宮外苑公園(桜の名所)あり。
- ※参道を下って道路西側に駐車場(70台)あり。
- ※参道を下ったところに末社神田神社あり。
また、境外（布留町）に末社恵比須神社あり。

事でも有名な神様です。

奈良の天理市にある石上神宮に参りますと、ご神木の荘厳な境内と、拝殿の奥には禁足地としての場所があります。現在はご本殿とされています。歴史的に武将などが納めた刀などもたくさんあると伺っておりますが、それとは別に神宝としての宝剣類、中でも七支剣などが有名であり、国宝にもなっております。

本当は、その刀の中に力をお入れになれる神様、すべてのものの中にお力をお入れになれる神様です。物は物体として、自然に存在しているように思われるかもしれませんが、神様のお力がそこに加わらないと、ばらばらに飛び散ってしまい、物としての形にはならないのです。

ところがこうしたことがお出来になられるのは、神様の世界でも特殊なお力で、大神様(神漏岐大神様・神漏美大神様)と申され、神々様をお生みになられただけでなく、すべての命の根源の神様のことです。こちらで大神様と申し上げるときはこの神

様のことを申し上げています)と石上大神様以外はすることは出来ません。

ですから大変に尊い神様です。どうしてもこの神様が、大神様と同じようなことがお出来にならないのでしょうか。そしてどうしてそういう尊い神様なのに、今まであまり表に出ておられなかったのでしょうか。

それは大神様が、大宇宙に行かれた事ととても深いかわりがあります。三千年近く前に、大宇宙に大きな問題が持ち上がり、大神様は日の系列のたぐさんの神々様をお連れになられ、大宇宙にお出かけになりました。

日の系列の神様に対して、月の系列の神様がいらっしやいます。

十字の教えで、太陽と月、火と水、男と女、一見互いに相反する性質のものが、十字に組まれることによって、そこから新たな命が生み出されるのです。これが大自然の法則であり、神様の世界もこの二つの系統の神様に大きく分かれます。

太陽の系統とは、自分から力を発する能動的な神様、月の系統とは、その力をお受けして育む神

四十八の神様・四十九の神様・五十の神様

よとや
四十八の神様

よそこ
四十九の神様 …… 大神様と四十八の神様

いそ
五十の神様 …… 大神様を神漏岐・神漏美大神様とお二方として数えた時

様、または癒しの力、潤いの力を持たれた神様です。

私たちの世界でも、男性は太陽の系列、女性は月の系列です。ですから女性には毎月、月のものがありますね。私たちの身体も大自然の力と影響をそのまま受けて生活しているのです。

そして男性と女性との結び(産霊^{むすび})によって生まれるから、結びの子として息子と言ひ、女性は女と呼ぶために結びによって生まれる女として娘と言うのです。

太陽の系列の神々様とは、この自ら力を発しておられる神様ですから、その神々様がお留守になられたということは、丁度、戦争で男性がみんな外地に行き国の中を守るのは、わずかの男性と、ほとんどが女性であったとお考え頂くかわかりよいかと思ひます。戦争は長くても数年、あるいは十数年ですが、神様がお出かけになられたのは、三千年のご予定でした。

そして戦争の時には、天皇様や首相、閣僚は、国の中に残っておられますが、大神様や天照大神様が、お留守であるということは、神様の世界で国の首相や中枢の方がすべてお出かけになられたと同じです。そのことが表ざたになれば、色々な悪いことがはびこったり、問題が生じてしまいます。

ですから大神様は、そのことを極力伏せてお出かけに